

{ 昭和34年7月20日 } (毎月10日発行)
第3種郵便物認可

広報

かわにし

昭和53年 4/10 No.236

人口の動き

— 4月1日現在 —
 男 5,127 (-15)
 女 5,179 (-21)
 計 10,306 (-36)
 世帯数 2,345 (-5)
 ()内は前月比較

発行 川西町・町長 根津正三 編集 企画室広報係 定価 1部5円 印刷 白南風社



🌸 今日から一年生 🌸

「先生の名前わかりますか……？」 「……」
 うれしさと不安の中で緊張さみなのは白倉小学校の
 3名の新入生です。

ひところは70名近くの犬世帯だったここも、今は
 37名の児童数にとかわりました。

「あしたから元気よく通いましょうネ」 「……………」
 無言のままコクンとうなずく新入生たち。一児童数の
 減少をものともせず、元気いっぱい飛びまわるのもま
 もなくてしょう。

4月の休日救急医

16日	池田医院	2-2581
23日	中条病院	7-3018
29日	富田医院	2-3269
30日	庭野医院	2-2711



億にあとわずか

世帯当りは
120万円に

53年度予算

五十三年度の町予算は、総額二十八億四千二百二十九万四千円と決まりました。これは、一世帯当りに換算すると百二十万円にもなる大型予算です。
不況が続いていますが、少しでも明るく豊かな町にしたいと、精魂こめてつくった予算です。
先月に続き、もう一度予算の概要をご覧ください。

数藤助役を再選

3/28 最終日

第二回定例会議会の最終日となった先月二十八日は、助役の選任につき同意を求めることについて、五十二年度の一般会計補正予算など九件の審議をしました。
この結果、助役には現助役の数藤彦三氏が再選されました。

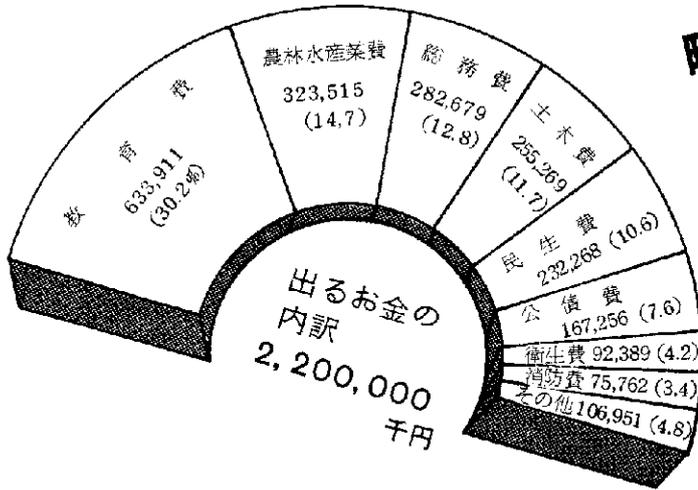
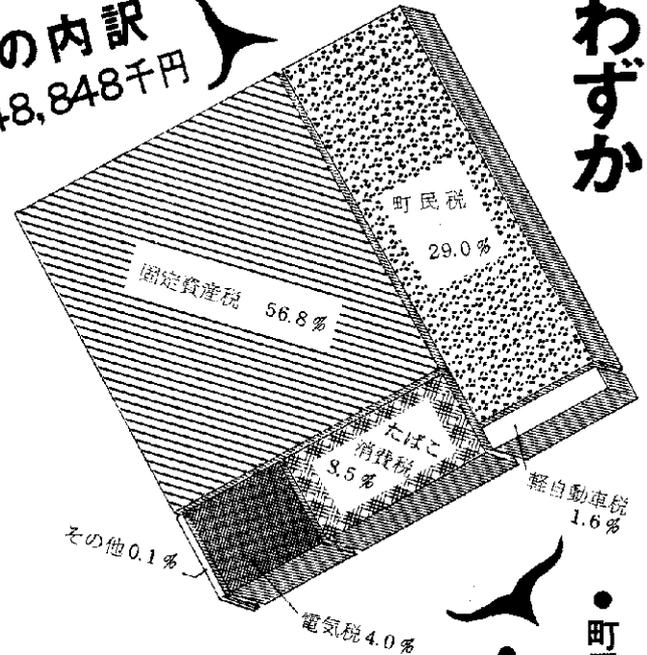


助役の
数藤彦三氏

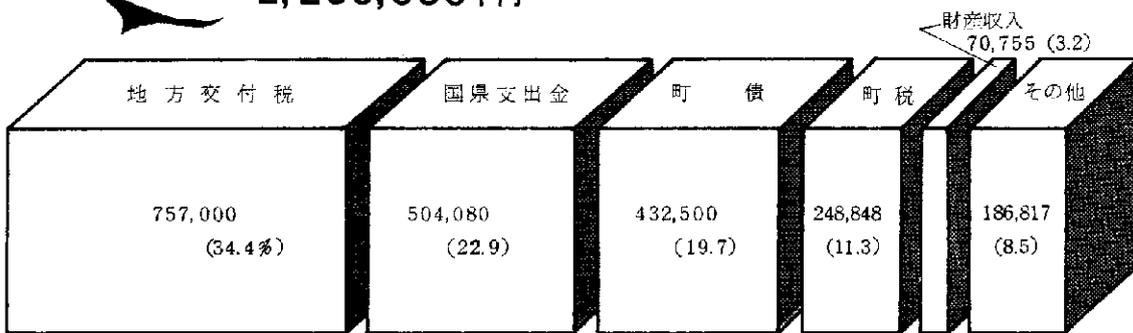
同氏は坪山の出身、六十歳、千手町役場書記を振り出しに、町議会事務局長、水道課長、総務課長などを歴任、四十九年から助役に就任されています。

一方、一般会計補正予算は、年度末を迎え、歳入歳出の清算的なものです。
追加額は三千七百八十六万四千円、主なものは、教育センター・グラウンド造成工事費、水道企業会計への繰出、町商工会館建設補助金、土地改良区基盤整備事業補助金、道路除雪経費、上野小屋体建設工事費など、今回の補正により一般会計の総額は十九億三千四百三十三万三千円となりました。
また、会期初日に出了された・高倉小学校裏側の掘削及びグラウンド拡張に関する請願、千手小学校舎等改築に関する請願の二件は、総文委員長報告ののち、いずれも採択と決りました。そのほかは、条例改正、特別会計補正などです。

町税の内訳 2億48,848千円



●入るお金の内訳 2,200,000千円



●町民一人当りは?
二四、〇六九円
●一世帯当りは
一〇五、九八三円

ねん・きん・ふく・し
年金で
お困りのときは...
皆さんは、日ごろ「国民年金のこんな点を聞いてみたい...」と思うことはありませんか。でも、「役場が遠くて...」とか「仕事に忙しくて...」などの理由で、ついそのままになりがちなもの、こんなとき、身近かに国民年金委員のいるのをご存知でしょうか。
町内では、次の方々を年金委員として活躍してくれているのです。
年金にまつわる相談は、お気軽にこの人たちにたずねてください。(敬称略)

- △宮 徳次郎 (東善寺)
- △大溪 晶子 (上町)
- △南雲 博 (田中町)
- △南雲 良 (寺尾)
- △保坂 トシ (沖立)
- △藤本 秀雄 (伊友)
- △中村 由蔵 (坪山)
- △宮井 源蔵 (上野)
- △押木 喜策 (元町)
- △渡貫 栄一 (新町新田)
- △高橋 久蔵 (三領)
- △丸山 孫太郎 (木落)
- △小幡 正徳 (仁田)
- △滋野 薫良 (野口)
- △丸山 康一 (原田)
- △南雲ハルエ (中仙田)
- △高野寅五郎 (室島)
- △青木 利栄 (小倉)
- △高橋 栄一 (高倉)
- △茂野 寅一 (藤沢)

国保事業会計

3億91,898千円

保険料を28%アップ

予算のうち、3億71,535千円が医療費として支払われます。

入るお金は、皆さんからの保険料が約34%、国からくるのが65%です。

保険料は、前年より28.5%ほどアップ、これにより一戸当りの負担額は年平均88,662円になりました。

国保施設会計

5千2,229千円

92%が診療収入

予算の92% (4千8,073千円)が診療収入です。

出るお金は、職員の給与関係と医薬品衛生材料費などがほぼ半々です。

へき診会計

1千3,427千円

このうち77.6%が診療収入、22.3%が県の補助です。

歯科診会計

1千8,602千円

昨年は場所を移動したことと、内部の施設を整えたことで予算がふくれましたが、ことしはそれらの費用がいりませんので515万円の減額となりました。

農業共済会計

7千7,535千円

制度改正を検討

ことしは、水稻の基準収量を改定後の等級により引き受けすることになりました。

また、家畜共済では肉豚共済も実施する予定です。農家の皆さんに少しでも有利な、充実した制度をみつきたい、とことしは水稻の引き受け制度の改正にも取り組みたい考えです。

簡易水道会計

8千7,603千円

田戸部落に布設

およそ6千650万円をかけて、田戸部落に簡水を布設します。これが予算全体の76%、残りはすでに建設した地区の維持管理費です。

一方、歳入は3千900万円(44%)の起債、国の補助2千580万円(29%)、みなさんの使用料1千1,401千円(13%)、その他です。

公債費

1億6,256千円

このほか、議会費三千六二七千円、消防費七千五七六千円、災害復旧費三千三三万五千元、諸支出金千八六五万円などです。

民生費

2億32,268千円

老人福祉費は五千九百八十五万円、この大部分は老人医療費となりますが、ほかに、月見荘の管理や若年寄りたちの健康診査、老人クラブへの補助金、ねたきり老人への見舞金などがあります。

衛生費

9千2,389千円

循環器、糖尿病、子宮ガン、胃ガン、結核……成人病検診にもいろいろありますが、診療所・保健所・健康管理室が一体となって

農林

3億23,515千円

二年目を迎えた総合整備モデル事業は、道路の改良舗装三か所、集落内排水路三か所、農村公園一か所を造る計画です。

水産業

2億55,269千円

昨年着手した赤岩地区のほ場整備、機械施設整備事業、いわゆる地域農政特別対策事業は、今年度完成の見込みです。

土木費

6億63,941千円

ことしは、道路の改良舗装と十四路線の改良・舗装(一部舗装も含む)、ほかに歩道新設、消雪パイ

商工費

1千6,937千円

商工会館建設費の補助を五百万円計上しました。これは、五十二年度予算で三百五十万円出していたので、都合八百五十万円の補助ということになります。

教育費

2億55,269千円

小学校費では、上野小屋体建設千手小屋上防水工事、同校グラウンド仕上げ、橋小グラウンド整備、同校プールサイド補修などで五千四百八十六万円の工事費

総務費

2億82,679千円

仙田地区にも有線放送がほしい。この願いも、新年度には解決する見込みです。東部のものは異なり、通話のできるものではないかもしれませんが、役場、農協を発信局として、無線により全戸へのいっせい放送ができる予定です。

各款の主なもの

さらに、検診の強化、疾病予防に努めます。

境衛生面では、引き続き防疫用薬剤の無償配布を行うほか、新規に消毒散布機三台を購入する予定です。

それらの保育に加え、四十五ヘクタールの植林を予定しています。

林道若ノ窪線は、千四百三十メートルの開削です。

プを各一路線計画しています。事業量にすると、改良工事が二千四百七十三メートル、舗装工事が四千八十メートル、これを全部消化すると、五十三年度末の改良率は三八パーセント、舗装率は二・六パーセントとなります。

△高橋 米治 (田戸)
△登坂 直 (赤谷)
△登坂 六郎 (岩瀬)
△高橋 富治 (大白倉)
△小堀多平治 (小白倉)

保険料は必ず納めましょう
今月は国民年金保険料の四月分の納め月です。万一の場合に所得保障をしてくれるこの年金も、保険料を納め忘れないように、受けられないことがあります。また、保険料を滞納するとますます額がかさみ、いっそう納めにくくなります。保険料は、決められた期限までに必ず納めるようにしましょう。

期限内完成をめどに工事は急ピツ子です。

質疑 によせられた 予算

成立まで足どり

六日・町長の施政方針演説
七日・総合的な質疑
十日・十一日・総文委員会
十三日・十四日・産厚委員会
十四日・十五日・建社委員会
十六日・質疑
十七日・討論・採決
ことに、七日の総括質疑では、
予算全般に対して、さまざまな角
度からの質問がよせられました。
これらの模様を、要点のみです
がまとめてみました。

体育館の運用は

体協・公民館と話合っ

A議員・①税収入のうち、町民
税は過大見積りではないか。②固
定資産評価について、道一本へた
てただけで、評価額に著るしい相
異があるのは不公平である。
根津町長・①財源に余裕がない
ので、過大見積りの可能性もある。
しかし、給与所得などは伸びてい
るので、この程度の税収は期待し
たい。②土地評価の不適正などと



深刻な農業事情

作り上手の

売り上手で

C議員・①役場職員の定数は現
状維持か、削減の考えがあるのか。
②深刻な農業情勢に対する町の姿
勢及び米穀流通改善対策費を削減
したことの理由について。
根津町長・①町発展のためには、
できるだけ多くの事業を取り入れ
なければならず、職員数も多くな
っている。しかし、これからはで
きるだけ増員をさげ、現勢を堅

地域農政特別対策事業について
は、県費のうちのせも要望してい
るが、思うようにいかない状況で
ある。
町費のつけ足しは、東部地区の
完了を待って検討したい。

当面は率を変えずに

道路改良の地元負担金

E議員・①豪雪対策についての
市町村会等での活動状況について。
②河川愛護会に対する補助金を減
額した理由は？、③放水路橋の手
すりなどの補修について。
根津町長・①特設法に指定され
ている市町村は、全国で二百近く
この四分の一を本県の市町村がし
めている。全国組織では、十日町
市長が会長を務めている。各部門
ごとに関係各庁などへの要望も
強力に行っている。②五十年をも
って、信濃川の築堤もほぼ完了し
た。小河川の整備も進んだので、
財源の関係もあり減額した。③放
水路橋は、十数年前に国鉄から引
き受けたもので、維持管理を町が
行うのは当然のこと、消雪を待っ
て調査し処置したい。

F議員・①国県道工事負担金の
千五百万円は少なくないか。あわ
せて町道改良等の地元負担率につ
いての再検討を願いたい。②国保
の保険料が毎年アップしている。
疾病保険から予防保険を重視すべ
きと思うがどうか。③高額療養費
の資金を町社会福祉協議会で貸付
けてくれるとの話であるが、その
方法について伺いたい。
根津町長・①県でも負担金駐減

白倉地区の簡水 水源を継続して調査

G議員・①白
倉地区の簡易水
道布設の見直し
について。②小白
倉に急傾斜地崩
壊防止工事が計
画されているが
この地元負担金
は？
③新生産調整で
の養い油の取り
扱いについて国
の方針はどうか。
根津町長・①

それらは農業振興費でカバーしたい。
D議員・自治法に決められている
にもかわらず、町の予算には
「労働費」の款がない。景気浮揚
と失業者保護を両立させること
が今後十分研究してみたい。



「水源を新年度も継続して調査したい。他地区とのかねあいもあり一年に二か所の布設はできない。白倉地区は一年で工事を完了させることもむずかしいと考えられる。」

②地元負担金は工事費の一〇パーセント、このうち町が七、地元が三の割合いで協力願いたいと考えている。③水田と違って養りをするものについては、取りあげていかなければならないと思う。

その場合、地目変換やドテを高くするといった条件は、以前と同様である。

H議員・①工場排水、家庭の下水排水対策が不十分である。側溝に残る汚物の処理指導及び将来に向けての下水道布設の構想は？

②集落開発センターを建設していただきたいわけだが、これに対する町補助金を、他町村なみにしてほ

しいものである。

根津町長・①河川の汚れがひどいのはお説のとおりである。そのためモデル事業を取り入れ、フラッシュ施設の設置も考えている。浄化槽も多くなったので、河川の清

いものである。

根津町長・①収入中の交付税は限度いっぱい見込んだものか。②林道閉削工事が必要であるが、それよりさらに先行して行う事業があるのではないか。また、継続して林道工事を行うのに加え、反対側からも三百メートル閉削するというのは、上部の指示によるものか。③雪中における駐車場の確保についての町の考え方は？

むずかしい

冬季間の駐車場確保

捕、指導面は一層徹底したい。将来は下水道も必要だが、当面は上水道の完備が急務と考えている。②集落開発センターの補助金は、補助残に対して五パーセント程度出したいと考えている。

議員・①歳入中の交付税は限度いっぱい見込んだものか。②林道閉削工事が必要であるが、それよりさらに先行して行う事業があるのではないか。また、継続して林道工事を行うのに加え、反対側からも三百メートル閉削するというのは、上部の指示によるものか。③雪中における駐車場の確保についての町の考え方は？

根津町長・①収入中の交付税は限度いっぱい見込んだものか。②林道閉削工事が必要であるが、それよりさらに先行して行う事業があるのではないか。また、継続して林道工事を行うのに加え、反対側からも三百メートル閉削するというのは、上部の指示によるものか。③雪中における駐車場の確保についての町の考え方は？



仙田開発に

新農業構造改善事業を

K議員・飲酒運転は重大事故発生のもとである。飲酒運転者の氏名公表等、もう少し強い処置をとる考えはないか。

根津町長・過去に氏名公表ということも考えてみたが、いろいろの問題点もあり公表せずに来た。今後さらに検討してみたい。

M議員・公共事業がぼう大になると、受け入れ態勢が心配になる。県の出先機関、町の態勢をより効果的にする必要があるのではないかと思うがどうか。

根津町長・地域の実状を生かし



▲3月17日 全予算が成立しました。

春の交通安全運動

四月六日～十五日

重点目標

- 歩行者、特に子どもと老人の事故防止
- 夜間の事故防止
- シートベルト着用推進

多くなっているが、県とは常に連絡をとりあいながら進めたい。町でも先般、一部人事異動を消化するよう態勢を整えている。

根津町長・継続、新規事業とも

県知事選挙 4月23日 です

では、別表のように終了時間を繰り上げています。
また、投票場所は前回(町議選)のときと同様(木暮は公民館にかかりました。)です。
せつかくの一票です、棄権することなく投票いたしましょう。

出かせぎ先でも 不在者投票が できます

投票日に、所用で投票所に行けない方については、前もって投票する不在者投票の制度があります。

任期満了による県知事選挙が、今月二十三日に行われます。

今後四年間の県政を担当する人を選ぶ大切な選挙です。よく見、よく聞き、よく考えて、正しい一票を投じましょう。

投票時間を まちがいでなく

投票時間は、午前七時から午後六時までですが、仙田地区について

▽仙田地区の時間繰り上げ

第十投票区	川西町役場仙田出張所	中仙田 戸越ヶ沢	午前7時	午後5時
第十一投票区	室島公民館	室島 藤沢	午前7時	午後5時
第十二投票区	旧赤岩小学校	赤谷 岩瀬	午前7時	午後5時
第十三投票区	白倉小学校	大白倉 小白倉	午前7時	午後4時
第十四投票区	仙田小学校小脇分校	小脇	午前7時	午後4時
第十五投票区	高倉小学校	高倉	午前7時	午後4時
第十六投票区	大倉集会所	大倉	午前7時	午後4時

◆立会演説会
十六日午後七時
十日町市民体育館

不在者投票には、印かんが必要ですのでお忘れのないように。

転出者は 証明書を持って

証明書を持って

転勤などで、県内の市町村に住所を移された方は、新住所地の市町村長の証明書を提示すれば、従前の市町村で投票することが出来ます。証明書の提示がないと投票できませんので、必ず持参してください。

不明の点は、役場の選挙管理委員会(電八三一一、有二二二)までどうぞ。

仙田小学校の 校歌ができました

校歌ができました

仙田小学校の校歌(歌詞)が決まりました。

昨年八月に一般公募した、仙田小学校の校歌は、町内外の皆さんから二十五点の作品をお寄せいただきました。

この中から、次の方の作品を選・佳作に決定しましたのでご報告いたします。

なお、入選作品を仙田小学校の校歌とし、作曲についても、まもなく完成する見込みです。

- ◆入選 小高 友一 長岡市
- ◆佳作 田中 茂夫 小白倉
- ◆須藤 茂一 仁田
- ◆小高 友一 長岡市

(仙田小学校歌制定委員会)



点検はまずエンジン止めてから!

来月春の農作業安全月間は

春の農作業期がやってまいりました。

町では、昨年に続き、農作業による事故を防ぐため、来月いっぱい「春の農作業事故防止月間」と決めました。機械を使う方は、特に次の点に注意し、事故防止に努めてください。

- ・点検、調整は必ずエンジン止めてから!
- ・服装は、作業にあわせてし

53年度の農作業料金

町の農業構造改善推進会議では、53年度の農作業料金の標準を下表のように決めました。

作業機等	作業名	単位	協定料金	備 考
トラクター	肥料撒布	10アール	580円	
	耕うん	"	3,400	
	代かき	"	4,000	
	畑耕	"	4,200	2回耕うん7,300円
防除	10アール1回	320		
	緑化まで	1箱	890	
育苗施設	硬化	"	150	
	田植	10アール	8,700	
コンバイン	刈取脱こく	"	12,000	初運搬を含む。1時間を額入れは30分ごとに4,200円
	乾燥調製	60kg	970	
ライスセンター	調製のみ	"	620	
	搬運	10アール分	1,800	
車	米運搬	60kg	180	

注①出資していない方は50%増。 ②生産組織によっては、若干の上下あり。

高額療養費の 資金を貸付けます

町社会福祉協議会で

この四月から、高額療養費の資金貸付け制度ができました。

高額療養費とは、医療費の本人たて替え分が月三万九千円以上のことをいいますが、ことに、月何十万円の医療費の支払いとなるとたとえ一時的(三か月)にせよ、大変な負担となります。

この負担を少しでも軽くし、生活の安定を願うのが、この制度の目的です。

とはいっても、貸し出す財源にも限度がありますので、全家庭を対象にすることはできません。

とりあえず、低所得世帯を中心とし、県社会福祉協議会から高額療養費の資金を借りる人を対象に県の貸付け額の残りの部分を町から貸し出すという考えです。

借りたお金は、医療を受けた月の翌々月に、国保なり健保からの支給を受けて返済することになります。

この間については無利子です。なお、この制度は、町社会福祉協議会で実施するもの、窓口は役場社会課です。

不明な点については、民生委員か社会課まで問い合わせください。

林道の使用は 届け出てから

今月一日から、林道の維持管理規程を作りました。

これは、林道の正しい利用と管理を目的に作ったものですが、特に、次の点については、皆さんからもご協力をお願いします。

●林道を占有、あるいは長期にわたって使用するときは、必ず役場林業係にご連絡ください。

今後、林道は、町道と同様の考え方方で維持管理をしますので、たとえば、木材の引き出しなどで林道を使用する場合も、届け出をしてくたさるようお願いいたします。

成人式へのいざない

5/3 総合センターで

32・4・2/33・4・1までに生まれた人

講演 「ことばと生活」と題し

川西高校長 坂井雄三 先生から

希望者には実費で “町の方言集をつくります。”

いま、町教育委員会では、川西町の方言集を発行したいと準備を進めています。これは、各地区の文化財調査審議会委員の手によって採集された方言を一冊にまとめるもので、地区別に分類して掲載しますので、町内にあることばでも、場所によって異なることが理解できるというもので、また最後には簡単な解説も加える予定です。

この方言集発行にあたり、希望者には実費でおわけすることになりました。

発行は五月中の見込み、体裁はB5判、二十五ページ、おおよそ三百円程度で配布できる見通しです。希望がありましたら、今月中に総合センター(電八二二〇八・二五八七)まで申込みください。

心配ごと相談日

次のように

今月から、心配ごと相談の日程を次のようにしました。

毎月第一水曜日 上野連絡所

第二水曜日 橋出張所

第三水曜日 克雪センター

第四(五)水曜日総合センター

相談時間は午後一時から三時まで、お気軽にどうぞ。

献血

人だすけと 自らの健康管理に

献血車(ゆう愛号)が次の日程で来町します。献血にご協力いただける方は、是非お出かけください。

●日時 四月十八日
午前十時～
午後三時

●場所 総合センター前

雪消えとともに献血車の活動が始まりました。ことしも、献血に特段のご協力をお願いします。ところで、皆さんは、川西町で年間どれくらいの献血実績があるかご存知でしょうか。別表は、過去五年間の実績を



地区別に調べてみたものです。年度別にはかなり採血数の変化がみられますが、これはゆう愛号の来町回数や時期的なことが左右するもの、例えば、農繁期には、協力がゲンと減ってしまうという事情があります。その市町村の年間採血量は、年のはじめに目標がたてられ、五十三年度川西町の場合はおおよそ四百三十人の見込み、五回ゆう愛号が巡回する予定です。過去の実績を達成率でみてみると、五十二年度は約八七パーセント、五十一年度は一二〇パーセント以上という記録です。

5年間の採血実績

(単位：人)

年度	千手	上野	橋	仙田	計
48	120	44	98	67	329
49	144	69	70	69	352
50	147	62	60	119	388
51	252	91	73	96	512
52	256	25	27	53	361

ことしからは、こうした人たちの希望があれば、その原因を調べてくれることにしたほか、検査サービスを徹底し、皆さんの健康管理をいっそう重視することになりました。

献血で自らの健康状態を知ることができるといふのもうれしい話です。ご存知のように、献血十回になると、日赤より銀色特別社員章が、二十回だと金色特別社員章が贈られています。

過去三年間では、十回以上の人が三十四人、二十回以上の人が二人もあらわれ、優秀な成績をおさめてきています。

人だすけに、家族のために、また、自らの健康管理のために、ことしとどしどし献血してくださいませ。

くまのこ

善意をありがとう

米寿を祝って 相崎ご夫婦からも

○下平新田の相崎軍平さん、マチさんご夫妻から、夫婦そろって米寿を迎えられたことをお祝いし、五万円を社会福祉に。

○川西高校生徒会から、文化祭のバザー等の益金二万二千円を社会福祉に。

○中屋敷の清水信一さんから、亡くなられた母セキさんに寄せられた皆さんのご厚意に対し、感謝の

脳卒中、ガン、心臓病は、四十歳ごろから急増、社会的にも家庭的にも、柱となる人たちが多くおかされます。これらの疾患を「成人病」とよんでおり、川西町では、全死者の六割がこれらの疾患によるものです。こ

意をこめて五万円を社会福祉に、それぞれ寄付いただきました。

庁内人事

※退職 / 三月三十一日付
総務課、丸山敬一、橋保育園、金子敏子、高倉小学校、高橋コイ

※昇任 / 四月一日付

教委学校教育課長・保坂国夫(健管室長補佐)、健管室長補佐、衛生係長・小林英一(税務課第一係長)、総務課副参事、住民係長・小林力(総務課住民係長)、産業

がたえません。

感染発病する人は、以前とは反対に青年層より高齢層に多くみられるようです。このような病気は、少しでも早く発見し治療することが大切です。例年のとおり、町では春の検診を行います。検診を受け、早いうちに発見し予防することは健康を保つ第一歩です。

レントゲン撮影 循環器検診が始まります

の予防は、国民的課題ともなっています。また、結核は以前にくらべると著しく減っていますが、しかし、完全になくなつたわけではありません。町でも、毎年感染し、発病する人

あなたの健康管理のため、家族の健康管理のため、都合のつく会場で必ず受けるようにしましょう。

対象は、町に住む十五歳以上の方全員、ただし、学校・職場で受けられる方は除きます。— みんなで検診、声かけて築こうが家の健康を—

課副参事・高橋和子(産業課農業共済係)、建設課副参事、土木第三係長・権問富雄(建設課土木第三係長)、健管室副参事、保険係長・中村義雄(健管室保険係長)、

国調課長補佐、農村総合整備係長・高橋英雄(国調課農村総合整備係長)、建設課長補佐、土木第一係長、高橋己一(建設課土木第一係長)、税務課第一係長・教藤

春夫(税務課第一係)、建設課土木第二係長、平野修(建設課土木第二係)、教委庶務係長・小川靖夫(健管室衛生係)、仙田保育園長・小林恵美子(上野保育園長心得)

土木第二係長)、上野保育園長、白井マサ(橋保育園長)、橋保育園長心得・角谷幸江(千手保育園長心得)、南原同・丸山泰子(仙田同)、千手同・数藤敦子(南原同)、総合センター・丸山カツ子(企画室財政係)、企画室企画係

・高橋貴美子(総合センター)、建設課土木第一係・押木哲(総務課住民係)、総務課文書係・野上敬夫(建設課水道係)、社会課授

護係・五十嵐ワカ(収入役室出納係)、収入役室出納係、高橋敏行(教委庶務係)、健管室衛生係、

田村伸(社会課援護係)、園科診療所・小川則子(社会課援護係)、仙田保育園・高橋セツ(橋保育園)、上野同・高橋智恵子(仙田同)、南原同・山田利子(上野同)、千手同・柳英子(同)、橋

同・田村加代子(南原同)、同、小林文子(千手同)、上野同・金子由子(南原同)、千手同・野沢

保坂圭一郎(好夫、長男、沖立、関、雅天、周一、長男、発電所通

高野、和業、敏夫、長女、室島、高橋、春行、茂、長男、東善寺

戸田むつみ、賢樹、四女、仁田、渡邊、智和、登、長男、元町

五十川、楢、敏雄、二女、沖立、喜多美由紀、清、二女、中島町

上村、聡、九二夫二男、上野

たかさご一ご円満に

○新婦 小川 武夫 赤谷

○新婦 森田 貴美子 東京から

○新婦 長谷川 義美 赤谷

○新婦 樋口 富美子 津南から

○新婦 高津 富士雄 寺ヶ崎

○新婦 宮澤 則子 十日町から

○新婦 丸山 明 上野町

○新婦 古澤とみ子 上野から

○新婦 星名狂一郎 伊友

○新婦 茂野千恵子 藤沢から

○新婦 高橋 博夫 田戸

○新婦 押木 美雪 元町から

○新婦 赤谷 登坂 酔月

三代の愛でし黄梅咲き盛り

ねはん会の貼紙濡れて寺の門

ねはん会や祖母の形見の珠数袋

ねはん会の庫裏の大焔の燃え盛り

赤谷 高橋 水月

ねはん会の衣ゆれたる燭の影

団子追う子等に賑わうねはんかな

雪割草一株を採り山を下り

赤谷 高橋 幸心

水嵩の音高くして春の水

地桜の花屋の店に並ぶ鉢

○新婦 米山 常作 室島

○新婦 上村 芳治 下平新田

○新婦 石田 ミキ 中屋敷

○新婦 丸山 徳榮 新町新田

○新婦 今藤 留平 上野

○新婦 和田 イ子 仁田

○新婦 和野 仁田 七二

○新婦 上野 仁田 七二

○新婦 米山 常作 室島

○新婦 上野 仁田 七二

○新婦 和田 イ子 仁田

○新婦 和野 仁田 七二

○新婦 上野 仁田 七二

○新婦 米山 常作 室島

○新婦 上野 仁田 七二

○新婦 和田 イ子 仁田

○新婦 和野 仁田 七二

○新婦 上野 仁田 七二

○新婦 米山 常作 室島

○新婦 上野 仁田 七二

○新婦 和田 イ子 仁田

○新婦 和野 仁田 七二

○新婦 上野 仁田 七二

○新婦 和田 イ子 仁田

○新婦 和野 仁田 七二

○新婦 上野 仁田 七二

○新婦 米山 常作 室島

○新婦 上野 仁田 七二

○新婦 和田 イ子 仁田

○新婦 和野 仁田 七二

○新婦 上野 仁田 七二

○新婦 米山 常作 室島

○新婦 上野 仁田 七二

○新婦 和田 イ子 仁田

○新婦 和野 仁田 七二

○新婦 上野 仁田 七二

○新婦 米山 常作 室島

○新婦 上野 仁田 七二

○新婦 和田 イ子 仁田

○新婦 和野 仁田 七二

○新婦 上野 仁田 七二

○新婦 米山 常作 室島



かわたし 俳壇 太白田南風遠 小白倉 江口みゆき

○吊し菰日々が高まり日脚のぶはめ板のガサと音して春陽渡る春めくや気の合う湯連れ五六人彼岸花胸に抱きつゝ長話

いくたびも三寒四温続きをり 大倉 金子 洋石 春寒や汽車待つ人のふところ手この谷の水のうまさよ花の酔

せせらぎに目高三つ四つ水温む 赤谷 高橋 笑子 春泥にまみれ爛りし小犬かな

卒業の子を思いつつ病み続く 火棚より煤を払うて種子下ろす 恋猫のめつきりやせて戻りけり

松風園 南雲 文峯 一風の去りてからりと春日和雪解けて嫩の新芽の青く伸び

昨日よりややうす寒き春時雨 赤谷 登坂 酔月 三代の愛でし黄梅咲き盛り

ねはん会の貼紙濡れて寺の門 ねはん会や祖母の形見の珠数袋

ねはん会の庫裏の大焔の燃え盛り 赤谷 高橋 水月